



港南小学校

学校だより

12月

二十四節気・七十二候

<12月の二十四節気>

- ・12月7日 大雪
天地閉塞雪降る
- ・12月21日 冬至
冬の最中日南下の極

<12月の七十二候>

- ・閉塞成冬
そらさむくふゆとなる
→天地の気が塞がって冬となる。
- ・熊蟄穴
くまあなにこもる
→熊が冬眠のために穴に隠れる。
- ・鮭魚群
さけのうおむらがる
→鮭が群がり川を上る。
- ・乃東生
なつかれくさしょうず
→夏枯草が芽を出す。
- ・麋角解
きわしかのつのおつ
→大鹿が角を落とす。
- ・雪下出表
ゆきわたりでむぎのびる
→雪の下で麦が芽を出す。

校長 船木 亮作

朝晩の冷え込みが厳しい季節となりました。早いもので平成二十九年もあと一か月となりました。先月の学校だよりでもお知らせした通り、十一月は港区教育委員会研究奨励校の発表を行いました。子供たちは、たくさんのお客様にも関わらず、考えを積極的に表現したり、友達と対話したりしながら授業を進めることができました。当日、残念ながら授業公開を行わなかった学級の子供たちから「私のクラスも見てもらいたかった」という声を数多く聞き、その言葉からも自己肯定感の高まりを感じることができました。

さて、十一月は「ふれあい月間」の二回目でもありました。「いじめ防止月間」でもあり、全校朝会では四月から「いじめ」に繋がる三つの「い」について繰り返し話をしました。「いたずらをしない」「いじわるをしない」「いやがらせをしない」の話や、顔立ち、髪、体型、肌の色、方言、苗字などからくるあだ名、障害があることなどで相手の嫌がることや仲間ははずれをしてはいけないことなどについても指導してきました。その他にも定期的に見学やアンケートを行って気になる子供たちと面談を行ったり、いじめ対策委員会を開催して解決の方向性を見出したりしています。また、年に二回、地域の方や弁護士、警察などの関係者に集まっていただき、客観的な意見をいただく取り組みも行っています。十二月十日を最終日とする一週間は我が国では人権週間と定めています。今年度は「みんなの築こう 人権世紀」を考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心」を啓発活動重点目標とし、取り組んでいます。本校では、ふれあい月間とからめて、十一月二十七日から一週間を人権週間とし、学級活動や道徳の時間を活用し

て一人一人が人権を尊重することの重要性を正しく認識させるとともに相手の気持ちを考えることの大切さについて指導していきます。是非、ご家庭でもこの機会にお子様とともに「人権」について話し合ってみてください。

既にお知らせした通り、十二月七日（木）～九日（土）には、ウインターフェスタを行います。ウインターフェスタは、学校で実施する様々な教育活動の中で、特別活動の「学校行事」の項目に位置付けられています。学校行事のねらいは、「望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てること」です。さらにこの文化的行事では、平素の学習活動の成果を公表し、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりする活動を行うことがねらいです。私たちは、学習活動の成果である作品の完成度ばかり目を向けることなく、作品を創り上げる過程を重視することが大切であると考えています。なにより、子供たちが協力することの大切さや人間関係の築き方を教え、自主的に活動しようとする態度を育てようとしています。練習中に子供同士のケンカがあれば双方の話を聞き、お互いの力で解決できるようにアドバイスします。また、係の仕事や自分の役割を果たさない子供がいれば仕事の大切さを説き、自分の力で表現を工夫するように励まし、ウインターフェスタの練習の過程では、そうやって子供たちの「心」を育てたいと考えています。特別活動は、机上の学習で得ることが難しい、生きていくために重要な力を育てることが目的です。練習の過程で子供たちが行き詰ったり悩んだりしていることがありましたら、是非、ご家庭でも一言声をかけていただければと思います。

今月の生活目標

「きまりを守って生活しましょう」

行事続きの二学期も、あと一か月となりました。子供たちは、運動会を通して集団行動の大切さを学びました。話を聞く時にはまず黙ること、開始時刻に合わせて余裕をもって早目に移動すること。学年が上がるにつれて、教師に言われる前に、自分たちで気付き、行動できる子供が増え、大変立派でした。現在、ウインターフェスタに向けて練習しています。運動会で学んだことを活かして、一層主体的に行動できるよう指導して参ります。

今月の生活目標は「きまりを守って生活しましょう」です。四月に配布した「港南小学校のきまり」を覚えていくでしょうか。子供たちは、その中のいくつを言えるでしょうか。「学校に来たら名札を着けます」「登下校時、校外学習時には校帽を必ずかぶります」「校舎内は安全に右側を歩行します」「通学路を通って登下校しますなど、子供たちが守るべきことが書かれています。きまりは、みんなが安全に安心して生活するために必要なことです。みんなが必ず守ることです。特例はありません。

きまりを守ることには、心の安定にもつながります。「これくらい大丈夫だろう」という気持ちで改め、今一度、学校のきまりを確認して生活できるように、ご家庭でも「港南小学校のきまり」を、今一度確認いただけたらと思います。

生活指導主幹 小林 幸子



東京都港区港南4-3-28
TEL 03-3474-1501・FAX 03-3474-1500

表彰

第29回
NPO法人ふるさと小中学生俳句ぶらざ俳句大会
NPOふるさと小中学生俳句ぶらざ俳句大会賞
森谷 友貴 (5年)
選者推薦作品
田中 愛子 (6年)

第28回 伊藤園お〜いお茶新俳句大賞
佳作特別賞 中根 優月 (3年)
佳作特別賞 尾崎 楓怜 (5年)
佳作特別賞 大政 七海 (6年)
佳作特別賞 市川 莉帆 (6年)
佳作特別賞 佐伯 菜 (6年)
佳作 阿部 愛音 (6年)

第4回 MOA 美術館児童作品展
銀賞 熊谷 真優 (1年)

港区民水泳競技大会
～50m/バタフライ～
3位 吉村 七星 (2年)

副校長より

先日、校外での子供たちの安全のために、PTAの方々と警察署の方、また教育委員会職員と芝浦港南総合支所職員、そして本校の担当教員で通学路点検を行いました。また夕方十六時頃だというのに、辺りはすでに暗くなっており、建物の陰や公園の奥などは人影も少なくひっそりしていました。他にもこのような危険を感じさせる箇所がいくつか見受けられました。学校でもこのような状況において、どのように安全を確保するかについて指導を行ってまいります。ご家庭でも、帰宅時間をきちんと守ることや物陰には行かないことなど、お子様に改めて声を掛けていただきますようお願い申し上げます。

十一月十二・十四日の学校公開に先日は、多くの方々にご参観いただきありがとうございました。お忙しい中、誠にありがとうございました。子供たちの学校での様子をご理解いただけただかと存じ上げます。また、すでにご案内しております通り、十二月七・八・九日は、ウインターフェスタが行われます。ぜひご来校いただき、子供たちの活躍する姿を、ご覧ください。お待ちしております。

なお、学校の施設管理面からも、ご来校される際のお履き物につきましては、ハイヒールなどの踵の高いものや音の出るものは、遠慮いただいております。改めて、協力をよろしくお願い申し上げます。

(副校長) 原島 謙一
 近藤 夏彦

12月の行事予定

1日	金	キッズスポーツアカデミー 15:45～
2日	土	
3日	日	
4日	月	全校朝会、委員会活動
5日	火	
6日	水	★下校時刻変更 基礎なし
7日	木	Winter Festa①
8日	金	Winter Festa②
9日	土	Winter Festa③
10日	日	
11日	月	全校朝会、クラブ活動
12日	火	保護者会 (2・3・5年) 15:00
13日	水	
14日	木	体育朝会・集会 保護者会 (わ、1・4・6年) 15:00
15日	金	
16日	土	校庭開放
17日	日	
18日	月	全校朝会、キッズスポーツアカデミー15:45
19日	火	げんきアップタイム
20日	水	
21日	木	体育朝会・集会
22日	金	給食終
23日	土	天皇誕生日
24日	日	
25日	月	終業式、大掃除 ★下校時刻変更 12:00頃

☆12月26日(火)～1月6日(土) 冬季休業日☆

この他に、避難訓練(予告なし)があります。

1月の主な行事予定

- 9日(火) 始業式、給食始【全学年5時間授業】
- 10日(水) 書き初め会(1・2・3・4年)
- 11日(木) 書き初め会(わ、5・6年)、発育測定始
- 15日(月) 委員会活動
- 19日(金) 学校公開①、書き初め展始
- 20日(土) 学校公開② 道徳授業地区公開講座4校時
- 22日(月) クラブ活動
- 25日(木) ユニセフ集会
- 26日(金) ユニセフ週間始、書き初め展終
- 27日(土) 土曜授業日、フレンドリータイム
ふれあいクリーン作戦(3年)

今月のあいさつ当番

1年・5年

今月の生活目標

きまりを守って生活しましょう

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	30	233	207	196	191	190	156	1203

五年生より

国語「天気を予想する」

国語「天気を予想する」では、説明文を読むことを通して、説明の仕方の工夫を見つめる学習をしました。様子を表すときは写真を、変化の様子などを表すときには表やグラフを使い分ける必要があることや、新しい文章構成の効果を見つめることができました。子供たちは、作者は分かりやすく効果的に伝えるために、これらの仕掛けを用いていることに気付きました。次の単元では、この学習を生かして、自分の考えに合った資料を用いながら文章を書く活動を行います。友達の文章を読み合うことで、さらによりよい文章の書き方を考えていきます。

(二組担任 並木 恵美子)

道徳「人とロボット」

港南小学校の校長室には、ロボットがいます。朝、挨拶をしたり、休み時間に会いに行ったりすることがあります。この、子供たちも大好きなロボットを道徳の教材にし、グループで意欲的に話し合いに取り組みました。ロボットと比較することで、人だからこそ感情があり、創造し、友達や

家族と信頼関係を結べる事などに気がつき、かけがえない命を大切にしたいと考える子が大勢いました。

(一組担任 並木 恵美子)

体育「みんなが楽しいハンドボール」

体育「ハンドボール」では、「みんなが楽しむ」を大切に授業を行っています。チームの仲間に「ナイスシュート」「ドンマイ」などの声掛けをすること、友達が活躍したときには拍手をしたりハイタッチをしたりしてみんなで喜ぶことを大切にしていきます。

学習課題も子供たちで考えます。友達のよい動きを見付けることで、これから身に付けていきたい動きを課題として設定します。ゲームで勝つために、得点するために必要な動きをみんなで身に付けながらゲームに楽しく取り組んでいます。

(五組担任 照沼 純)



港区教育委員会研究奨励校 研究発表会

本校は、「自己肯定感の高い児童の育成」を主目的として、二年間研究を行ってきました。その研究の成果を十一月二日(木)に発表させていただきました。当日は、区内の教員を中心に多くの方にご参会いただきました。港南小学校の研究を報告させていただきました。

今回の研究は、児童の自己肯定感を高めることを目的としています。本校は、自己肯定感を高める研究を平成二十五年度から継続して行っています。本校では、自己肯定感を「自分に対して前向きで、自分のことを好ましく思うような態度や感情」と捉え、自己肯定感の高い児童は、「他者に対しても進んで働きかけたり、肯定的に考えを認めたりすることができる」と考えています。

今回の研究では、全教科等の授業を通して、児童の自己肯定感を高めていこうと考えて、全ての教科等の授業を公開しました。参加者の方からのアンケートでは、「児童が友達の意見を大切にしながら学習を進めていた」「児童一人一人が主体的に学んでいた」などのご意見をいただき、本校の研究の成果を認めていただくことができました。

研究発表会は無事終わることができましたが、本校では引き続き児童一人一人の自己肯定感を高めていく研究をしてまいります。

(研究推進部 高嶋 佑樹)



算数少人数より

本校では、二年生から六年生の算数で少人数での学習を行っています。各学年に算数少人数の担当三名が加わり、単元毎に算数のクラスを作りま

す。例えば五年生では、五学級を八クラスに分けることとなります。スタッフルームの定員は九人で少人数ですし、他の教室でも若干クラスの人数が少なくなり

ます。算数でのクラス分けは、単元の内容等により様々です。習熟度別や、単純少人数、めあてや課題別などがあります。単元が始まる

理科部より

理科部は「当たり前を見直し、解決に向かって問いをもち続ける子」を目指す児童像とし、授業研究を行ってきました。これは、グローバル化や技術革新が著しい時代を生き抜くために、クリティカルに考える続ける態度を子供たちに身に付けさせることが大切だと考えたからです。

研究発表では、六年生「水よう液」の学習で授業を公開しました。題材に取り上げたのは、電車で洗剤を入れたアルミ缶が破裂したという二〇一二年

前に、単元の内容がどれだけ理解できているのかを把握する「レディネステスト」や、日々の生活や学習での課題等を踏まえて、一人一人に適していると思われるクラスに分けていきます。

今年度からスタッフルーム全室に電子黒板とデジタル教科書を導入して理解することに役立っています。これからも一人一人の課題に合った算数の学習を進めていきます。

(算数少人数担当 青木 良太)

いう生活に根ざした水溶液の性質を理解していなければ事故を引き起こす可能性があることから、児童に水溶液の性質を調べる必要感をもたせました。このように身近なものや現象を当たり前と片付けるのではなく、科学的な見方や考え方で常に見直すことが育てていききたいと思

(理科部 土井 沙也香)



クラブ紹介



昔遊びクラブ

昔遊びクラブでは、けん玉やこま、百人一首、だるま落としなど、昔から日本でなじみのある遊びを楽しんでいます。

五月の活動では、竹とんぼを飛ばしたり、こまやけん玉の技を練習したりしました。羽根つきでは、「友達とラリーが続くように頑張りたいです」とめあてをもって、夢中になって取り組んでいました。また、こま回しでは、なかなか回せなかった友達が優しく教えてあげたり、友達が成功すると一緒に喜んだりする児童の素敵な姿が見られます。

活動の振り返りの場面では、「みんなの技が上達するために練習が必要」という意見が出て、これからは、技を練習する時間を取り入れていこうと話しました。

次回はいこうと話し合いました。盛り上がりそうです。こちらでも

(昔遊びクラブ担当 大川 信子)

パソコンクラブ

パソコンクラブは、二十七名の児童で活動しています。「ワード」を使って活動しています。まず、オリジナルのカレンダーを作ることを通してワードの使い方を練習しました。次に、飾り文字で入力したり、背景を工夫したりして、作品にインパクトを持たせてみました。また、写真やイラストを挿入し、文字などを組み合わせることで、自分のだけのカレンダーを楽しんでいます。パソコンの技能レベルは異なりますが、パソコンを扱っている児童が他の児童に教えている姿がよく見られます。

今後は、クラブ発表に向けて、子供たちの素晴らしい発想が生かされるように意欲的な活動を続けていきます。

(パソコンクラブ担当 戸室 勇児)



ベースボールクラブ

ベースボールクラブは、六年生十六名、五年生十名、四年生六名の計三十二名で活動しています。活動内容としては、キックベースとハンドベースボール、ティーボール、ソフトボールというベースボールに類似した四つの種目をローテーションして行っており、しかし、ゲームをして楽しむことだけを目的とせず、活動後の反省を生かし、自分たちでルール等を話し合っており、決めていくなど、工夫して取り組んでいます。今後は、今よりも児童たちがチーム、ルール決めなどを率先して行ったり、意見を交流したりするなど、より主体的に活動できるように支援・指導していききたいと思います。

(ベースボールクラブ担当 高橋 佳大)



マジッククラブ

マジッククラブは十三人と少人数ですが、六年生を中心に楽しく活動しています。

今までの活動では、コインを使ったマジックや数字当てマジックなどを練習してきました。見ている相手にタネが分からないように手元の動きを練習し、堂々と発表できるようにしています。活動の最後には互いの出来栄を見合い、アドバイスをしたり、言う言葉も相談したりしています。

クラブ発表に向けて、さらにバリエーションを増やしていけるように、今後活動していきます。

(マジッククラブ担当 橋 由紀)



栽培委員会

後期の栽培委員会も元気にスタートしました。後期は、コスモス、マリーゴールド、フオーチュンベコニアなど、色とりどりの花々を育てています。

後期の最初の委員会活動では、委員それぞれが活動目標を立てました。活動目標を見ると、メンバートと協力して、花を大切に育てたい、担当の日ではなくてもなるべくプランターを見に行くようにして、土が乾いていないか確認をしたい等、意欲的に取り組もうとした。



(栽培委員会担当 倉山 千春)

広報委員会

広報委員会は年間を通して、月の行事予定の作成やポスターの掲示を行っています。

行事予定というのは、子供たちにかかわる行事を、ポスターにして掲示、知らせるもので、掲示板に合ったデザインを考え、それをもちに色画用紙で作っていきま。十一月は秋の果物や虫、十二月はクリスマスなど、季節に合ったテーマを決めて作成しました。完成したポスターは体育館に向かう掲示板に貼りだ

ています。校内掲示も日付を過ぎていないか、まつすぐ貼れているかを確認しながら、適宜貼り替えを行っています。

後期も六年生を中心に、前期の頑張りを引き継いで、さらに学校内を明るくするような広報活動を行っていききたいと思います。

(広報委員会担当 橋 由紀)

